

集落活動センターかきせ（黒潮町）



拠点施設
情報

旧馬荷小学校
(幡多郡黒潮町馬荷3259)
0880-43-3306



○ 主な活動内容

<宿泊>

旧小学校を改修した宿泊施設は、ミーティングルームや体育館も併設されており、スポーツ大会等での宿泊や合宿にもおすすめです。

ご希望に応じてお弁当もご用意することができます。



<農林水産物>

○七立栗

空海（弘法大師）が四国巡礼中に住民へのお礼として残したという言い伝えがあります。

年に7回ほど順次収穫できることから「七立栗」と名付けられ、秋の生け花や観賞用として人気があります。



<イベント部会>

○はだしマラソンへの食事提供

黒潮町の観光イベントである、「はだしマラソン全国大会」参加者へ昼食の提供を行っています。

また、スポーツツーリズムで来町する選手たちへの食事の提供も行っています。



開設時期	H29.4.2
運営主体	集落活動センターかきせ
構成集落	馬荷、御坊畑、大方橋川
人口・世帯数	276人・147世帯（R8.1.1時点）

地域の自慢

かきせ地域は、とても甘く1年に7回も実が採れる栗（七立栗）と、お大師さんの杖の跡から湧き出る冷泉を残してくれた、と言われている弘法大師伝説が残る里山です。「七立栗」の切り枝は国内でも高い評価を受けています。

○ 地域のこれから

地域の方々が集える場所である「あったかふれあいセンター」のサポートや黒潮町が取り組んでいる「スポーツツーリズム」の宿泊受入れや地域食材を使ったお弁当事業など、地域外と交流することで地域に収益をもたらせる事を目的に取り組んでいきます。

○ 活動への思い

私たちの故郷への愛着や想いを次の世代へつないで残していくためにも、行政と連携し、地域の伝統文化を守るとともに地域で支え合いながら、お互いの顔の見える活動を続けていきます。（会長 川村 渡 様）

